

服部 右子 教授 年 譜



服部右子先生は、名古屋市立大学人文社会学部教授、大学院人間文化研究科教授として多年にわたって活躍され、本学の研究・教育・社会活動に多大の貢献をされました。教授は2004年3月末日をもって退職されます。その功績に感謝をささげ、年譜を掲げます。

〔学歴〕

- 昭和39年 3月 名古屋市立大学医学部卒業
 昭和40年 5月 医師国家試験合格
 昭和46年 4月 名古屋市立大学にて医学博士学位授与

〔職歴〕

- 昭和39年 4月 名鉄病院にて実地修練
 昭和40年 4月 名古屋市立大学医学部小児科学教室研究員
 昭和42年 6月 名古屋市立東市民病院小児科医員
 昭和48年 8月 名古屋市立東市民病院小児科副部長
 昭和55年 4月 名古屋市立看護専門学校講師兼務
 平成 2年10月 名古屋市立保育短期大学教授
 平成 8年 4月 名古屋市立大学人文社会学部教授
 平成12年 4月 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科教授兼務
 平成15年 4月 名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授兼務

〔所属学会〕

日本小児科学会（専門医）、日本未熟児新生児学会、日本小児神経学会、日本感染症学会（専門医、評議員）、日本小児感染症学会、日本小児アレルギー学会、日本小児保健学会

〔主要な業績〕

- 昭和45年 2月 新生児期における血清 ceruloplasmin値について
 名市大医誌 第20巻 第4号
 昭和45年 5月 免疫拡散板法による健康小児の血清蛋白値（共著）
 小児科臨床 第23巻 第5号
 昭和45年10月 新生児期における急性感染症の診断、2、3の血清蛋白の動態とその診断的意義（共著）
 小児科臨床 第23巻 第10号
 昭和46年 3月 新生児期の細菌感染症の診断—orosomucoidの診断的意義について—（共著）
 新生児誌 第7巻 第1号
 昭和46年 6月 乳児期にみられた十二指腸ポリープの一例（共著）
 小児科内科 第3巻 第6号
 昭和47年 5月 Peptococcus anaerobius（嫌気性ブドウ球菌）と白色ブドウ球菌の混合感染による乳児化膿性髄膜炎の一例（共著）
 小児科臨床 第25巻 第5号
 昭和47年 6月 新生児髄膜炎の経過に伴う急性期反応物質およびIgM、IgAの動向とその診断的意義（共著）
 新生児誌 第8巻 第2号
 昭和47年 7月 自然寛解をみた蛋白漏出性胃腸症の一例
 小児科診療 第35巻 第7号

- 昭和47年8月 先天性偏側性多嚢胞腎の3例
(共著)
小児科臨床 第25巻 第8号
- 昭和48年8月 異染性ロイコジストロフィーの
一症例(共著)
小児科臨床 第26巻 第8号
- 昭和48年9月 新生児全身ヘルペスウイルス感
染症の5症例(共著)
新生児誌 第9巻 第8号
- 昭和48年 Diagnostic significance of serum
orosomuroid level in bacterial
infection during neonatal period
(共著)
Acta paediatrica scandinavia Vol.62
- 昭和49年6月 Acute phase reactants score
(APR-Sc)による新生児感染
症のスクリーニングの試み、そ
の1. 未熟児感染症(共著)
新生児誌 第10巻 第2号
- 昭和49年8月 著名な肝萎縮を示した新生児肝
炎の一例(共著)
小児科臨床 第27巻 第8号
- 昭和50年5月 CoxA16ウイルスによると思われ
る無菌性髄膜炎の9例(共
著)
小児科診療 第38巻 第5号
- 昭和51年9月 Acute phase reactants score
(APR-Sc)による新生児感染
症のスクリーニングの試み、そ
の2. 臍帯炎とAPR-Score
(共著)
新生児誌 第12巻 第3号
- 昭和51年9月 先天性皮膚カンジダ症の2症例
(共著)
新生児誌 第12巻 第3号
- 昭和52年4月 「前期破水、分娩遷延と未熟児
感染症」(共著)
日本周産期医学研究会誌
- 昭和53年8月 「妊婦・胎児・新生児の感染
症」(共著)
科学評論社
- 昭和54年3月 新生児期に診断しえたターナー
症候群の一例(共著)
名古屋市立病院紀要 第2巻
- 昭和55年3月 溶血性尿毒症症候群の2例(共
著)
名古屋市立病院紀要 第3巻
- 昭和55年6月 肝壊死を伴ったエコー21ウイル
ス感染症(共著)
新生児誌 第16巻 第2号
- 昭和55年12月 全外眼筋麻痺、運動失調、腱反
射消失を主訴とした特発性多発
性神経炎(Fisher症候群)の一
幼児例(共著)
小児科臨床 第33巻 第12号
- 昭和56年3月 新生児B群溶連菌感染症、その
抗原検出グラム染色および蛍光
抗体法による診断(共著)
名古屋市立病院紀要 第4巻
- 昭和56年8月 D群連鎖球菌による早発型新生
児敗血症の一症例(共著)
小児科診療 第44巻 第8号
- 昭和56年9月 未熟児室で発生したコクッサー
ーB型ウイルス感染症(共著)
新生児誌 第17巻 第3号
- 昭和57年3月 大量の胸水が認められた早発型
新生児B群溶連菌感染症の一部
検例(共著)
周産期医学 第12巻 第3号
- 昭和57年6月 父親由来による5番染色体長腕
部分トリソミーの一男児例(共
著)
小児科臨床 第35巻 第6号
- 昭和57年11月 1981年夏にみられたコクッサー
ーB2ウイルス感染症(共著)
小児科臨床 第35巻 第11号
- 昭和58年3月 名古屋市立東市民病院小児科で
の1982年のウイルス分離成績
(共著)
名古屋市立病院紀要 第6巻
- 昭和58年6月 剖検診断からみたAPR-Sc
(Acute phase reactants score)
の感染に対する信憑性について
(共著)
新生児誌 第19巻 第2号
- 昭和59年3月 乳児ビタミンK欠乏症性出血に
対するビタミンK内服予防効果
ーとくに特発性高ビリルビン血
症での成績についてー(共著)
名古屋市立病院紀要 第7巻
- 昭和59年3月 ミオグロビン尿症を伴ったイン
フルエンザ筋炎の一例(共著)
名古屋市立病院紀要 第7巻
- 昭和60年4月 小児虫垂炎の検討(共著)
名古屋市立病院紀要 第8巻
- 昭和60年6月 名古屋市で観察されたエコー24
型ウイルス感染症(共著)
小児科臨床 第38巻 第8号
- 昭和62年4月 咳嗽失神をきたした小児気管支
喘息の一例(共著)
名古屋市立病院紀要 第10巻
- 昭和63年1月 DICを合併した川崎病の一例

- (共著)
名古屋私立病院紀要 第11巻
昭和63年7月 1986年にみられたエコー7型ウ
イルス感染症 (共著)
小児科臨床 第41巻 第5号
昭和63年7月 SIADH (ADH分泌異常症候群)
を来たしたRSウイルスによる
細気管支炎の一例 (共著)
小児科臨床 第41巻 第7号
昭和63年8月 新生児のサルモネラ感染症 (共
著)
周産期医学 第18巻 第8号
昭和63年10月 サイトメガロウイルス単核症の
5歳女児例 (共著)
小児科臨床 第41巻 第10号
平成元年4月 当院で経験したアデノウイルス
感染症 (共著)
小児科臨床 第42巻 第4号
平成元年7月 経皮的ドレナージにより肝膿瘍
を治癒しえた慢性肉芽腫の一例
(共著)
日児誌 第93巻 第7号
平成2年3月 当院で経験したエコー18型ウイ
ルス感染症 (共著)
名古屋市立病院紀要 第12巻
平成6年6月 母親の子育て意識に関する研究
(I) (共著)
名古屋市立保育短期大学幼児教
育研究所紀要 第31巻
平成7年6月 本学学生 (名古屋市立保育短期
大学) のエイズに関する意識調
査
名古屋市立保育短期大学研究紀
要 第34号
平成7年6月 母親の予防接種に対する認識度
名古屋市立保育短期大学幼児教
育研究所紀要 第32巻
平成7年6月 母親の子育て意識に関する研究
(II) -母親の自己評価と育児
態度について- (共著)
名古屋市立保育短期大学幼児教
育研究所紀要 第32巻
平成8年3月 「小児保健実習」(共著) 保育
出版社
平成9年4月 「障害児・者の発達と福祉 (保
育と人間5)」(共著) 福村出版
平成11年4月 「新時代の保育双書 小児保
健」(編集、共著) みらい
平成13年4月 「保育のための小児保健」(共
著) 保育出版社
平成15年4月 「新・小児保健」(編集、共著)
- みらい
平成15年4月 「小児保健実習ガイド」(共著)
建帛社